令和８年３月30日(月)

令和７年度 まちづくり㈱ZENコネクト事業報告書

（実施）

1. 概況

本年度は、中部縦貫自動車道の福井県内全線開通を見据え、「受入体制の強化」と「町内周遊の促進」を最重点課題として事業を展開しました。特に、観光 DMO 活動補助金を活用したデジタルスタンプラリーや、中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業を核とし、大本山永平寺門前地区から町内各エリアへの誘客・回遊性の向上に努めました。

2. 主要事業の実施結果

① 中部縦貫自動車道開通スタートアップ事業

- **事業名:** 令和７年度 中部縦貫自動車道スタートアップ事業
- **メインイベント:** 「禅の里永平寺町まるごとフェス」(3/15 開催)
- **実績:**
  - イベント全体の来場者数は、3月15日の単日で約5,000人、事業全体では7,000人以上を記録。
  - 般若汁(約450食)や胡麻豆腐ぜんざい等の振る舞いを通じて地域資源をPR。
  - 観光コンテンツ造成の一環として「永平寺ダムカレー」を販売し、来訪者への話題づくりと地域資源の活用を図った。
  - 自動運転SC-1の乗車体験やミニゲーム(約1,000人参加)など、体験型コンテンツも好評を得た。

② デジタルスタンプラリー(観光DMO活動補助金事業)

- **実施期間:** 令和８年２月15日～3月15日
- **参加状況:** 合計253名が参加。
  - **属性:** 50代・60代が中心だが、ファミリー層の取り込みにも成功。居住地は福井県内が約65%を占める一方、県外利用者も約35%に達した。
  - **回遊効果:** 参加者の約3分の1が全20箇所をコンプリートしており、滞在満足度向上と周遊促進に一定の成果があった。
  - **課題:** 早期の景品(コシヒカリ5kg)完売により、後半の参加者数が鈍化したため、次年度は特典の配分とバリエーションの再検討が必要である。

③ 地域資源活用・誘客事業

- **酒蔵ツーリズム:** 町内3酒蔵を巡るツアーを計2回実施(参加者:計50名)。
  えい坊館での地酒 Bar 設置。越前和紙を使用した杉玉の製造により、地酒ブランドの

付加価値向上を図った。

- **永平寺町気球フェス 2025**: 強風のため熱気球のフライトは中止となったが、食のブースや、わら神様のお披露目により、約 1,000 人の集客を実現。
- **志比北小オープンスクールフェス**: 休校舎を活用し、地域住民と来訪者の交流を促進(3/28 開催)。

3. 広報宣伝活動

- **デジタルマーケティング**: 地域おこし協力隊と連携し、Meta 広告や SNS による情報発信を実施。広告掲載中に問い合わせが増えるなどの直接的な効果を確認した。
- **地域連携**: 近隣道の駅や行政機関、町内施設へのポスター配布に加え、町公式 LINE による周知を徹底。
- **地元マスコミの活用**:積極的な広報活動により、地元新聞や地域情報誌、ラジオ等のメディアに取り上げられ、イベントや施設の認知度向上につながった。

4. 協議会の開催

- 永平寺町 DMO 戦略会議において、団体間の情報共有及び意見交換、永平寺町観光地経営戦略の報告、永平寺町 DMO 経営戦略の報告、事業報告を行いました。